東郷村報

第31号

昭和29年8月5日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高新町
株式会社 安藤印刷所
電話64番

経済振興対策について

昭和二十九年度国庫予算は一兆円の枠に収められデフレ政策として金融の引締めが強く行われ財政資金の放出投資が抑制されて通貨の流通が圧縮されたため業界の金詰りは甚だしく持に中小企業は金融業界の貸出し抑圧により企業整備の余儀ないのは勿論、多数商社は倒産寸前の状態にありますがまだ避遠の農山村にまでその影響は大きく響いていませんが各種業界を通じてひしひしと響いてくることは明かでありますが経済力の弱い農村は今にして覚醒し経済の安定を計らなければ不況の波は遠慮なく我等農村民の生活をおびやかし容易ならない事態を招来すると思わなければならない、既にインフレ進行中に今日あるを予期して経済振興計画を樹立し村民各位に過去三ケ年に亘り呼びかけて来ましたがインフレの淡い景気に玄惑されて除々にその効果を示してはいるが計画当初の実績を挙げ得ないでいる本村経済振興対策は各界を通じ実践されなければならない時期が到来しました。特に経済力に弱い本村に於ては主要食糧作物の耕種に園芸に畜産に養蚕に副業に林業に販売の改善に生活の改善に慣習の改善に本村の立地条件に立脚し研討立案された改善事項の実施の成否が個人経済を安定強化し引いては村経済を充実し東郷村の繁栄をもたらすか否やの重大岐路であります。経済振興五ケ年計画も三ケ年をけみし準備時代を過ぎ余す処あと二カ年となりました。時恰も経済界は政府の緊縮政策に依りデフレの傾向を強く現わして来ました。また晩春よりの低温寡照の不良天候に災され農業経営の大宗をなす稲作の分ケツ不足、病害虫の異状発生を見ていることは心気一転村興しに村民総ケツ起を大自然が促している尊い使命であるとも考えられますので村興し完遂を誓ひ我等の楽土建設にこん身の力を投じません。私達は良い経験をしました、三月末には再建を危ぶまれた我等の農協の村興し貯金を完了し農協再建に光明を与え村経済の中枢を打ち建てました此の意気を以て一致協力今こそ村興し完遂に全力を傾倒しませう。

今年は県の指定村興し村として知事の指定を受けましたので来る九月村の振興委員会を開催して最も効果的な本村にふさわしい振興計画を研討して実施することになりましたので皆さんに必ず実行していただかなければならない実施事項は決定次第御通知致しますが次のようなことは村の立地条件から見て皆さんに必ず実行して戴かなければならないことと思われます。

一、農協の整備強化

(イ)増資及貯蓄目標の達成

農協の出資金は現在東郷農協が五、九六五、〇〇〇円寺迫農協が八九九、〇〇〇円で現在の経済状勢下に於て組合員各位に満足して戴くような経済活動を行ふには余りにも少い資金でありますが金額そのものは大きいように見えますが事務所や倉庫や加工工場や輸送用トラック等に固定しているものを除ければこれが本村の経済機関であると自認し組合員の経済行為を代行するには余りにも少い資金となるので組合員の農協としての活動を行ふには再建整備法に定められているように年次を追つて増資を完遂して名実共に我等の農協にふさわしく育成しなければなりません。

本年度増資目標額

東郷農協　三、〇〇〇、〇〇〇円
寺迫農協　四〇〇、〇〇〇円

増資の達成と共に農協の強化に欠くことの出来ないものが貯蓄の増強であります出資金の大部分は資産として固定しているので経営に必要な流通資本として利用し得る額は軽微なものとなり組合として組合員の経済生活を助長するにはもつと〳〵多額の資金が必要であります。貯金は重要な通貨の財源となり又貯金の額は信用の尺度ともなり経済活動が活発に行われることになり皆さんに満足して戴くことが出来るようになります。金融引締めの影響を強く受けて市中一般銀行は極度に貸出しを抑制しておりますので生産資金の借入れは困難でありますから農山村の生産資金として活用することは出来ないが農協は零細の農山村の資金お集め組合員大衆の力で相互扶助の美しい姿を現実に実行するのが本来の仕事でありますから御互のために貯蓄の増強に勉めませう。

昭和二十九年度貯蓄目標

東郷農協　九、〇〇〇、〇〇〇円
寺迫農協　四、〇〇〇、〇〇〇円

(ロ)農林産物集荷の一元化及販売改善

農林産物価格の変動は村経済の消長に重大な影響を及ぼすことは自分の身の廻りを見れば唯にもはつきりわかる事であります汗取りの下着から外出用の晴着は勿論マツチ、茶椀、鍋、釜、農機具に至るまで悉く村外で生産されたものであるからこの代価は当然村外に支払はれているのでこれ以上の通貨を村外から獲得しなければ本村の経済が萎び沈滞する外ないことは村民の等しく認めている処であります。この経済収支の不均衡を是正する道はいろいろありますが村内に生産される物産を豊富にしてこれを有利に適正価格で販売して村外より多くの通貨を獲得することが最も重要なことであります、農村が経済力に政治力に弱いのは結束の力に欠けていることが原因でありましよう、デフレ傾向の強い今日こそ一致協力結束の力強さを発揮する好期であります「自分達の生産したものは自分達の手で」をもつとうにして農協を中心に集荷販売を一元化し市場と直結して市況や市場の好みを把握し販売を合理化しなければなりません。

昭和二十九年度目標（最低目標）

品名	東郷農協	寺迫農協
米	三、八〇〇俵	一〇三俵
麦	九二三俵	三八三俵
甘藷	八〇、〇〇〇貫	澱粉に加工五三、〇〇〇貫
木炭	四五、〇〇〇俵	四六、〇〇〇俵
そ菜	——	一、〇〇〇、〇〇〇円

昨年度の実績は（主要品目）

品名	東郷農協	寺迫農協
米	三、〇〇〇俵	一、〇〇〇俵
麦	一、〇〇〇俵	四〇〇俵
甘藷	一三〇、〇〇〇貫	一五〇、〇〇〇貫　澱粉加工
木炭	九〇、〇〇〇俵	五〇、〇〇〇俵
そ菜	——	一、三〇〇、〇〇〇円

(ハ)農協の利用

重要生産資材である肥料、農業薬剤、農機具種苗等には現在いかがわしい物が市場に出廻つている生産費の大部分を占める肥料には現在七〇余の化成肥料が出廻つており含有成分も区々でありその選択にも迷ふのが普通であるので施肥の合理化を計るため本村の立地条件を検討して施肥設計を樹立てその必要肥料を準備するように手配してあり農薬についても粗悪品が出廻つていることは新聞紙上にも報導されている通りでありますからよく注意しなければなりません資材の準備については役場農業改良普及事務所と協議の上最も信用することの出来るものを取扱ふことになつておりますので安心して全面的に利用するようにしましよう。

二、防災

(イ)水稲品種の組合せ

昨年と一昨年と二年台風は来襲しなかつたが過去六〇年間の実情は年平均二回宛の台風が襲来して大きな被害を及ぼしている。稲作の被害を見ると開花期と台風の襲来期と一緒になつた場合は収穫皆無となつており出穂開花期を遠ざかるに従ひ被害が減じている。稲の出穂開花時期は品種により大変差があります。

品種名	出穂開花期	成熟期
たかちほ	八月二九日	一〇月七日
山中二号	八月二九日	一〇月一三日
旭一号	九月五日	一〇月三〇日
三井神力	九月七日	一〇月二三日
農林一八号	九月七日	一〇月二六日
瑞豊	九月一三日	一〇月三〇日
日向錦	九月一二日	一〇月二八日

となつているが台風は八月下旬から九月中旬に最も多く襲来していますがいつ襲来するかは栽培当初には全然わからないので出穂開花時期の違つた品種を組合せて栽培することが台風の被害を軽減する唯一の方法でありますから村で委託経営している採種圃の種子と交換して二三の品種を組合せて栽培して稲作を台風から守りましよう。

早生（たかちほ　山中二号）一〇％
中生（つるぎは　旭一号）一〇—一五％
晩生の中（農林一八号）三五％
晩生の晩（瑞豊）四〇—四五％

(ロ)病害虫防除の徹底

毎年病害や虫害で受ける被害は平均二五％と云われているので本村では二、〇〇〇石乃至二五〇〇石位の米が蝕まれていることになり平均反収の少いもの一つはこのためであります完全保有農家二、〇〇〇人以上（全村民の一七％）の保有量を蝕ばむこの被害は徹底的に防除しなければなりません。各組合別に編成している防除班の一層の御努力により不良天候により激発している病害虫を撲滅しましよう。

(ハ)防災茶園の設置

南九州の特徴として春期から秋期にかけて豪雨が襲来して傾斜畑の耕土の流亡は莫大な量に上り耕土は年と共に浅くなり肥料分は流失して瘠薄の度を増しています此の流土を防ぐために適宜の距離に茶樹を仕立てましよう。

(ニ)防災桑園設置

桑樹は成長が早く土地を選ばずよく繁茂するので畑の境界や堤塘等の空地を利用して植付台風に対する畑作の保護を行ふと共に蚕児の飼育に利用するようにしましよう。

(ホ)防風林の設置

常に台風の襲来する方向に杉、山茶花、槇、赤芽柏等の防風林を仕立台風の被害を最少限度に喰止めるようにしましよう。いつの台風でも僅かな樹影でもよく被害をまぬがれている実例をよく現認する処であります。防風林の効果は風上に於て防風林の高さの五—六倍風下に於て約二〇倍と云われております。台風銀座と称される宮崎県の農業には防風林は必要欠くことの出来ない設備であります。

三、自給肥料の増産と施肥の合理化

地力の根元をなすものは腐植であります腐植は堆肥緑肥等自給肥料に最も多く含まれているので自給肥料を多く施すことによつて地力は培養されています。普通耕土には五％前後の腐植が含まれているのが理想とされていますが高温多雨で腐植の分解の早い本村では流亡が早いのでそれ以上が必要です一年間に消耗される腐植の量は田で三〇貫、畑で四〇貫位であるからこれ以上の腐植を施さないと地力は低下することになります。堆肥の中に含まれている腐植の量は一〇％程度でありますから。畑で四〇〇貫、田で三〇〇貫の堆肥を施したときようやく消耗した腐植を補ふに過ぎないので少くとも一反当五〇〇貫以上を施さなければ地力の向上は出来ないことになります。既に生産組合を通じ実施を願つているように五月から十一月までが実施期間で特に青草の多い八月から十月迄が強調週間になつていますので反当五〇〇貫を目標に増産に努めて下さい。秋蒔の紫雲英が九月ルーピンやザートウイツケン等は十月が播種期ですから半湿田や空畑には必ず緑肥を栽培して地力の向上を計りましよう。耕土に一番含有量が少くて作物の増収に必要な加里は草木灰にたくさん含まれていますので毎月必ず採集するようにしましよう。肥料の三要素チツソ、リンサン、カリ、を具合よく配合して施した田は今年のような異状天候の場合でも病害からまぬがれています。自分の土地をよく知つて肥料を合理的に使ふようにしましよう。特に硫酸根が跡に残る硫安や過石は出来る限り使わないようにしましよう。

自給肥料増産目標

堆肥　五、〇〇〇、〇〇〇貫
緑肥　二三〇町歩
草木灰　一〇〇、〇〇〇貫

四、畜産の振興

(イ)有畜農家の創設

農業経営の規模から見て大家畜を繋留しなければならない農家が約六〇〇戸もあるので五ケ年計画でこれを半減するように努力中であります農業経営から見て五反歩に対し一頭は是非共必要と認められるので現在繋留していない方々は出来る限り早く繋留するように努力されたい。

本年度目標　牛五〇頭

(ロ)牛の改良増産

村内に繋留されている和牛一、〇八二頭中牡が三四七頭にも達するので出牛として利用しない牡牛は牝牛に切替え仔牛の生産を計ることが経営上有利であるから努めて牝牛と切替えましよう。又村内には仔牛を生産しない牝牛が未だ相当数に上つているが仔牛を生産することこそ畜産の妙味を深く味うことが出来ると共に経済面にもゆとりが出ることになりますので今年こそ全牝牛残らず種付するようにしましよう。

本年度目標　牝牛切替　五〇頭
仔牛生産　四五〇頭

(ハ)飼料の確保

狭い採草地を有効に利用して繋留頭数の増加に対応すると共に飼料価値を高めるために草種の改善を計つたり施肥により草量の増加を計つたり石灰の施用によつて草質の改善するように牧野の改良を計りましよう。農地から出る草稈野菜の下葉、藷蔓等の有効利用や飼料作物の輪栽を実行して飼料計画を確立しましよう。

本年度目標　採草地改良　二〇町歩
飼料作物増植　一〇町歩

五、農地の整備

(イ)農地の交換分合

本年は農業委員会の議を経て小野田、福瀬、八重原の三地区を実施することになつているので実施地区は(1)、地区内あらゆる団体が一体となつて推進する。(2)、実施計画は各地区毎に選出された計画委員を母体として自主的に作成する。(3)、各人別に土地及経済調査を厳密に行ひ農業経営に即した集団化を計る。(4)、一団地の面積は尠くとも二反歩以上となるように努力する。(5)、あらゆる機会と機構を動員して啓蒙宣伝に努め事業が民主的に実施出来るようにする。

ことに努め円滑適切に実施出来るように努めましよう

(ロ)農道の整備

農道の新設改修による効果は労働力に於て二〇％生産効果に於て五％以上の増収を得られると云われているので農道の整備に努めましよう。

(ハ)用排水の整備

水路不良のために旱害を受けたり水路の設置されていない天水田や排水施設がないために冷湿田となつているものは未だ広面積に存在しているがこれらの施設により約二〇％程度の増収が得られると云われているので努めて用排水路を整備強化しましよう。

本年度目標

農道四ケ所　一九〇〇メートル
用排水　一〇ケ所　一〇〇〇メートル
二、一〇〇メートル
井堰一ケ所　七メートル

六、経済作物の導入

現下の経済機構は貨幣を中核とした純貨幣経済であるから村外から移入する物資の代価に比して村外え販売する物産の代価が大でなければ村の経済は振興して来ないのであります従来村の経済力を左右していた林産資源が乱伐に次ぐ乱伐で往年のおもかげを没した現在之の恢復は重大事であるが数十年の歳月を要するので一面に於て経済作物を導入して経済力の培養に努めなければならない。

(イ)果樹の増殖

果実の需要は飛やく的に増加してどんな山村避地へ行つても店ぱのある処には必ず陳列されている。本村の気候風土は柿、みかん、栗等の栽培に好適し自然のまゝの放任栽培でも優秀な品質のものが生産されているもし之れに少し手を入れて園地栽培を行つたなら強い特産となることは明かであります。こんなよい条件を有つている本村でまとまつて果実が生産されず返つて他県から大量の果実を移入

（二面へつゞく）

夕立のうた

飯かしぐゆうべの煙庭に這ひてあきらけき夏の雨は降るなり
はちはちと降りはじけつゝ荒庭の穂草がうへに雨は降るなり
俄雨降りしくところ庭草の高きみじかき伏しみだれたり
渋柿のくろみしげれるひともとに滝なして降る夕立の雨

　　柘水

し多額の通貨を逃避させている。文化の進むに従ひ果実の消費は増加する一方であります耕地の少い本村では山麓の適地を利用してどん〳〵増植して経済力の培養に努めましよう。

増植目標

みかん	五〇町歩
柿	六〇町歩
栗	一〇〇町歩

達成のために柿とみかんの苗木を養成し技術修得のための指導園も設置されています。

(ロ)桑樹の増植

生糸の輸出は減少しているが国内混紡用に使われるものが増加して現在では各製糸工場共原料不足になやんでいる。養蚕は短い期間にまとまった収入が得られ軽労働であるから婦女子の作業として最適であつて年に三―四回も繰返し飼養出来るので力強い経済力を持つているが桑園反別が少いので現在では村の経済を左右する程の力を持つていませんが戦前には小産物と並んで村の経済を伸縮させる程の経済力がありました。経営規模の小さい農家の力強い副業でありますから桑園の増植に努めましよう。

本年度増植目標　五町歩

(ハ)茶樹の増植

茶は私達の生活と切りはなすことの出来ない必需品であると共に外貨獲得のための輸出品としても重要なものであります。本村の山地至る処に山茶が自生していることは気候風土がよく茶に適している証左であります。茶は目方が軽く価格が割合高価であるから輸送に恵まれない地帯には特に良い物産でありますが茶も亦村内需要を満すに足らない状況にあるので努めて増植しましよう。

本年度増植目標　一町歩

(ニ)そ菜の増植

そ菜は私達の健康を保持するために毎日欠くことの出来ない必需品でありその消費量も莫大なものであります。農業を基本とする本村でも種類によつては不足して大量に移入されています。農産物は農村から町に取出されるのが本当の姿でありますが本村の場合は適地でありながら普通常識の逆を行つているこんな姿で良いものでしようか。そ菜には種類が大変に多いのでその中で気候や土質によく適しているものを選んで皆の力で大量に生産して特産地を造つたら大きな力になることでしよう。そ菜は生産期間が短いので狭い耕地で何回も繰返して栽培することが出来ますから増殖に努め村外からの移入を防止し更に進んで村外に移出するように努力しましよう。

本村に適するそ菜と栽培目標（自家用を除く）

夏蒔甘藍	一五町歩
胡瓜	五町歩
南瓜	二七町
トマト	三町
里芋	三〇町
牛蒡	二〇町
人参	一五町
たまねぎ	一五町
白菜	二〇町
豌豆	一五町
西瓜	二〇町
落花生	三〇町
煙草	

（そ菜ではないが輪作の関係で同一に取扱ふ）

七、林業の振興

一万九千町歩の山林原野を有つ本村の経済が林産物によつて大きく左右されていることは村民等しく認める処でありますが心静かに山地を眺めて見ましよう。鬱蒼と繁つた用材林は昔日の俤もなく伐りつくされ、木炭原木林は幼令林に変り椎茸原木も亦適令伐期のものが影をひそめてしまつた林相は何を物語つていることでしよう。きつと〳〵昔の美しい姿にかえしてくれと訴えていることでしよう。この願は必ず受け入れてやりたいものです。

(イ)森林の緑化

山林の資源は用材を第一義としなければなりませんが用材の蓄積が年と共に減つて行くことは山村の衰退を表現している徴であります。一方六千町歩の民有林こそ我達の取り組む村興しの力の入れ処ではないでしようか恒久的の興隆は山林を深い緑に包むことであります百年の大計を立て植樹につとめましよう。

本年度植樹目標　一五〇町歩

苗木は約八〇万本仕立られて皆さんに植えて戴くのを待つています。植樹目標は必ず達成しましよう。

(ロ)撫育の徹底

毎年植樹は続けられておりますがそれだけの材積が蓄積されていないことは誠に残念なことです。夏の繁茂期に植林地をよく見て戴きたい植えた苗木が整然として美しい若緑の萌芽をすく〳〵と伸ばしているのでしようか多くの植林地には雑木に影を没し又くずに覆われて用材の姿さえ見つけ出さないものさえありますこれでは蓄積が増さないばかりではなく無駄汗を植樹に流したことになります。下刈に間伐に補植に努め山本来の美しい姿に仕立ましよう。

(ハ)木炭の品質改善

年産三〇万俵を越える重要物産木炭の声価はいかゞでしよう。東郷産木炭と大言し得るような声価を博しているでしようか。否規格に量目に品揃に荷造包装に悉く酷評を受けております。炭質は良いのであるが選別規格が悪いのと内部に品質の悪いものが塡充されていたり量目が不足していること荷造包装がぞんざいである点は必ず改め東郷木炭の声価を恢復しなければなりません又適令伐期の原木の使用により更に炭質の向上を計りましよう。

八、生活の合理化

家庭生活と仕事が具合よく組合せ運営されたとき初めて家族揃つて健康で楽しい毎日が家を興して下さるのです。私達の日常を振り返つて見ましよう。仕事と家庭生活が上手に組合されているでしようか。衣食住に慣習に衛生に随分と無理や無駄が繰り返されて健康や仕事を圧迫していることでしよう。この無理や無駄を少しづつでも改めて和楽の中に家が興るように努めましよう。

(イ)食生活の改善

満腹主義の食生活から健康第一の栄養重点の食生活に移りましよう、健康を保つには米や麦に含まれている澱粉の外に脂肪分や蛋白質やビタミンやカルシユーム等が必要でありますから手近かにこれらの養分を含んでいるものの自給を計り献立に工夫をこらして食生活を改善しましよう。食生活を中心として生活の合理化を計るために婦人村興し実践部落が指定されていますのでこれをモデルにして改善に努めましよう。

(ロ)台所の改善

台所は婦人の家庭活働の根拠であります農村婦人は農耕に従事するかたわら台所の炊事にたづさわるので台所の構造や配置によつて過重の体力を消耗することになりますから明るく風通しの良いようにし台所用具の配置を合理的に工夫すると共に衛生的に改善して婦人を過労から守るようにしましよう。

(ハ)計画的自給菜園の設定

そ菜の栽培は主人が行い調理は主婦が行ひたために献立と生産が喰異い折角立てた食生活の改善計画も実行が困難な場合が往々にしてあるので年間を通じ献立に差支えないように台所を中心とした自給菜園を設けるようにしましよう。

(ニ)還境衛生の改善

私達の生活から蚤や蚊や蝿がなくなり病気を追放する事が出来たらさぞ愉快な生活が出来る事でしよう。部落こぞつて日当りの良い明るい風通しの良い住ひ良く乾燥した床下や土間きれいな下水、虫類の入らないように蓋した便所。附近に水溜りのないことこんなふうに工夫して行くことによつてうるさい蝿や蚊もなくなります行届いた掃除と消毒は病気をも追放します皆揃つて還境衛生の改善に努めましよう。

九、滞納の一掃

納税は国民に課せられた重大な義務でありますから税金は必ず完納しなければなりません村税は村政の裏付けであつて各種の事業が村民のために行われておりまし昭和二十八年度は皆さんの御努力によつて大変良い納税成績でありましたが完納に至らず三七万円余りの滞納が出来ましたことは誠に遺憾なことであります。私達には色々な権利が法律によつて与えられていますが権利はどこまでも主張することが出来ます。従つてくまでも履行しなければなりませんので未納の方は至急納入して義務を課しましよう。一度に全額納入することは困難であるから納税組合を結成し日掛又は月掛等により納税額を積立るようにすると大変楽に完納が出来ますからまだ納税組合の結成されていない部落は納税組合を結成して完納の出来る態勢を整えましよう。

農業委員会便り

大變!!

うつかりすると折角買受けた農地が元通り政府買戻しになる!!

自作農の経営を安定させる為に必要と認め開発して農地とすることが適当な土地については、国が法によつてこれを買収した上買受申請者の内最も適任者と認められる者に売渡したのであるがこの目的は云う迄もなく食糧増産の為に土地を開放し自作農経営による生活の安定を計らせようとする事にあつたこれが為には一定の条件がつけられてあつたことは勿論である即ち旧自作農創設特別措置法及旧農地調整法の適用を受けるべき土地については売渡通主の声を聞いてみると「人の大事な地所を殆んど無料の如き価格で買受けこれを開墾も完了せず甚だしい人は買受けの使用目的を勝手に変更して杉や松その他採草地等に利用しようとしている者さえ出ている事実は誠に以つてけしからん事で政府はこれらの土地については厳重な土地調査をして農地の不適地又は未開墾や使用目的の変更を勝手にしている分を買上げて速やかに本人に返すべきだ」と云う意見が強い。成程地主の立場からみれば尤な話です国はこの事態を想像して売渡以前に法にちやんと決めてある即ち農地法の第七十一条に都道府県知事は第六十一条の規定により売渡した土地等につき第六十七条第一項第六号の時期到来後遅滞なくその状況を検査しなければならない。第六十二条国は第六十一条の規定により土地の売渡を受けた者又はその一般承継人がたの各号の一に該当した場合はその土地等を買収することができる但し第六十七条第一項第六号の時期到来後三年を経過したときはこの限りでない。

一、前条の規定による検査の結果開墾して農地とすべき土地の開墾を完了していないことが明らかとなつた場合

二、前条の規定による検査の結果その土地等を売渡通知書に記載された用途に供していないとき

三、前条の規定による検査の期日前にその土地等を売渡通知書に記載された用途にみづから供することをやめた場合又はやめる事を知事に申出た場合

右の通りで開墾完了の上利用収益を挙ぐべき期日が過ぎたならば直ちに成功検査を実施して不合格を決定し不合格については遠慮可責なく買上げを実施する事になつている二十八年度及二十九年にかけて隣接の日向市がこの検査の結果に大半以上が不合格で再買上げとなり泣くにも泣けない大騒ぎをした事はまだ耳新らしいところである。

「地元の農業委員会がなんとかやつて呉れる」とか「話せば分る」主義で通らないのがこの検査でこの際安易な考え方は絶対禁物であろう。

それではどうすれば此の検査に合格するかと云う問題になるが此の事は農業委員や区長、組合長に説明や文書が渡して指導してあるのだが一向にその手続きがない。併し末端の関係者に徹底ができないとすれば大変だと考へ更らに此所にその方法を掲載することにした

一、買受けた土地が農地とする為に買受けた土地で受けあれば農地として利用すること。

二、開墾未了の場合は速かに開墾して立派な農地として置くこと。

三、農地として不適地の場合は採草地等に使用目的を変更する為に一定の様式によつて（様式は組合長や地元委員に話してある）書類を作成して地元の農業委員会を経由して県知事へ申請すること。

四、買渡した土地を他に譲渡しては不可いことになつているのでたとへ転出する人の土地でも法による手続きをしないで買受けた者の土地は買上げの対象となるので一般に注意されたい。

尚不明の点は地元の農業委員や村農業委員会へ問い合せられたい。

盆行事の申合せ

東郷村婦人連絡協議会
東郷村青年連絡協議会
東郷村公民館

一、盆提灯は近親者のみに止めましよう

一、新盆の家の接待は簡素にいたしましよう

一、慰霊祭は盛大に行い冗費を節約し遺族に迷惑をかけぬようにいたしましよう

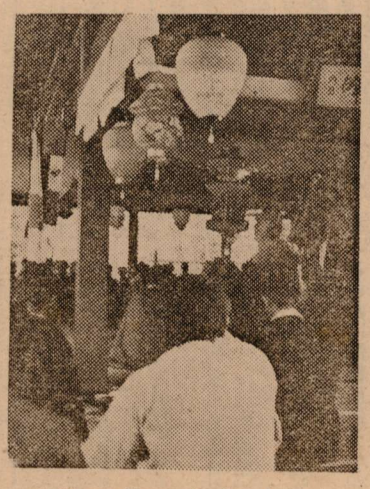
朝参（逃散）供養

旧暦七月十七日は「ちようさん供養」の日です「ちようさん供養」については村民は皆そのいわれを知つて感謝の一日を送つていたゞいていると思いますが延陵世鑑抄には次のように記録されています。

「元禄三庚年九月十九日臼杵郡山陰村の百姓男女千五百人当地の領主有馬永純卿に背き児湯郡秋月領内に出発す此の故は郡代梶田十郎左衛門が非道を怨み薩州へ亡命の覚悟なり是に因りて秋月家より留置し延岡藩に知らす

有馬家より歴々の侍を遣はして度々招けども色々望み事ありて帰らず是に因りて野中に小屋を営みて秋月家より扶持せらる。遂に年を越えて春江戸訴論に及ぶ、亡命の頭取百姓二十人並に郡代梶田十郎左衛門、代官大崎久右衛門、筆者伊東与右衛門、林田長左衛門、目付野津三郎左衛門の輩、家老衆召連れて江戸評議所に於て対決あり、然るに百姓の落度となり延岡に於て頭取善助、市兵衛は張付其の上男子は流罪妻並に女子は引かれ者にせられ半蔵、佐次兵衛、段助、重右衛門は死罪百姓に頼まれ願書を認めたる久五郎、関之丸、庄之丞、与一兵、大郎助是等は流罪にす。その全は委く放免となり郡代代官は公議により追放となれり其の秋将軍家より永純卿に在国の領内騒動宣しからずの上意にて城地召上げられ翌元禄五年壬申春越後の国糸魚川に移封となれり」

以上のように記録されているが二十九名の百姓の人たちが処刑された元禄四年は今年より二六三年前で逃散した全竈数は二九九、人員一、四二二人である。



朝参（昨年）景風養供

農業委員会委員選挙について

七月十六日執行の木村農業委員会委員選挙は立候補の届出をした者が十二人で委員の定数を超えなかつたため無投票に終つたが七月十六日選挙会の結果次の者が当選人と決定した。

東郷村大字山陰乙一七四四　田辺清吉
〃　大字下三ケ一、三九　海野九市
〃　大字山陰甲三、三六ノ一　橋口虎市
〃　大字山陰庚三八　前田米作
〃　大字山陰丁四四八　平塚定
〃　大字山陰丙一、五一　山床道太郎
〃　大字下三ケ一、一七〇ノ二　黒木金一
〃　大字坪谷八三ノ一　黒木松美
〃　大字山陰乙一、八〇二　新名健
〃　大字山陰甲八三ノ一　黒木金一
〃　大字下三ケ一、一三六　海野治三郎
〃　大字山陰戊四六五　三浦旭
〃　大字山陰曰三〇ノ三　稲田富吉
〃　大字坪谷一四六　作田透
〃　大字山陰辛七〇八　黒木熊吉
〃　大字八重原八二一　迫野内須常吉
〃　大字山陰丙一、五一　奈良原速美

（届出順）

尚この外農業協同組合又は農業共済組合の理事の中から当該組合が推薦した者及び議会が農業委員会の所掌事務について学識経験を有する者として推薦した者について村長が委員として選任した者の住所氏名は次のとおりである。

東郷村大字坪谷八三ノ一　黒木松美
〃　大字山陰乙一、八〇二　新名健
〃　大字山陰甲八三ノ一　黒木金一
〃　大字下三ケ一、一七〇ノ二　山床道太郎

編集後記

△この月は旧歴の七月どこの家でも「七夕のほしまつり」「盂蘭盆の精霊まつり」さては朝参供養などと、うるわしい、なづかしい数この行事の行はれる月である。

「たんざく」をたて「ひこぼし」「おりひめ」の星物語りに夏の宵のひとしきを送るもよかろう独り静かに亡き人々の追憶にふけるもよい供養の「盆おどり」にひとときをすごすも又楽し農村の夏の生活である。

△とかくこの月は元禄の義農への慰霊の月であり遠い近い祖先への感恩の月であり、亡き人々への追憶の月である。

△村が経済振興五ケ年計画をたて〻第四年目の今年「村興し」の県の指定をうけたことはうれしい、一つ褌をしめなほして馬力をかけて村興しの実をあげよう。生産の振興に生活の改善に消費の節約に貯蓄の増強に

△本号は「村興し」号とした緑蔭涼風の下に御一読を乞ふ

草も木も
月待つ露の夕かな